

【第7回アフリカ開発会議サイドイベント】

「アフリカのきれいな街プラットフォーム」第2回全体会合

国際協力機構（JICA）は、環境省、横浜市、国連環境計画（UNEP）、国際連合人間居住計画（UN-Habitat）との共催により、TICAD7のサイドイベントとして8月26日から27日にかけて横浜市で「アフリカのきれいな街プラットフォーム（ACCP）」（注）第2回全体会合を開催しました。

本会合では、レジリエントな都市の実現に向けた持続可能な廃棄物管理をテーマに、廃棄物管理についての経験や技術を共有するとともに、環境教育や住民啓発の重要性、廃棄物データの活用や廃棄物管理改善に向けた資金動員の促進について議論しました。2日間を通じ、アフリカ34か国の中央および地方政府や公的機関、国内外の民間企業や自治体、国際機関など、およそ450名が参加し、アフリカ諸国が直面する廃棄物管理に関する課題の解決に向けて、熱心な議論が交わされました。

会合の最後には、原田環境大臣や共催機関、アフリカからの代表により、今後の活動の促進に向けた抱負が示されるとともに、全会一致で「横浜行動指針（Yokohama Action Guidance）」をTICAD7に向けたインプットとして採択し、ACCPに参加する各国・都市や協力団体が連携を深め、適切な廃棄物管理を実現するために更なる取組みを進めることを確認しました。

（注）アフリカの国々がきれいな街と健康な暮らしを実現することを目指して、廃棄物管理に関する知見の共有やSDGsの達成、資金動員を促進するためのプラットフォーム。環境省、JICA、国連環境計画（UNEP）、UN-Habitat及び横浜市のイニシアチブで2017年4月に設立され、アフリカ36カ国、65都市が参加。

■プログラム概要

- ・ ACCPの主な成果と今後の展望
- ・ 廃棄物管理の経験の共有と応用可能な解決策
- ・ 廃棄物管理のための教育と啓発活動
- ・ SDGs達成に向けた廃棄物データ管理
- ・ アフリカにおける固形廃棄物管理のための資金動員
- ・ ハイレベル・セッション：アフリカのきれいな街と健康な生活に向けたACCPの役割

■本イベントの主な登壇者

【開会挨拶】

あきもと司 環境省 副大臣

Naison Mutizwa-Mangiz 国際連合人間居住計画 アフリカ地域事務所

小林一美 横浜市 副市長

【ハイレベル・セッション】

原田義昭 環境省 大臣

天野雄介 JICA 理事

Victor Kisob 国際連合人間居住計画 事務局次長

林文子 横浜市 市長

Juliette Biao 国連環境計画 アフリカ地域事務所長

Sheila Santana Afonso モザンビーク土地・環境・農村開発省 次官

Robert Beugré Mambé コートジボワール・アビジャン自治区 知事

【基調講演】

松藤康司 福岡大学 名誉教授

Andre Dzikus 国際連合人間居住計画 都市基礎サービス部調整官

【閉会挨拶】

(1日目)

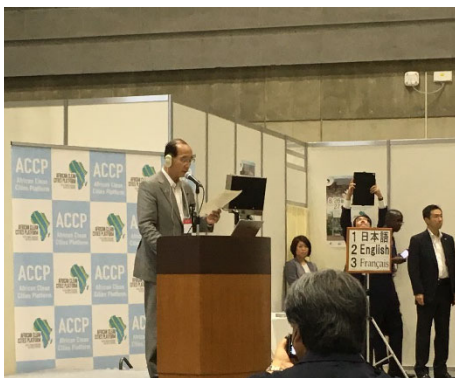
Eneas da Conceicao Comiche モザンビーク・マプト市 市長

勝俣孝明 環境省 政務官

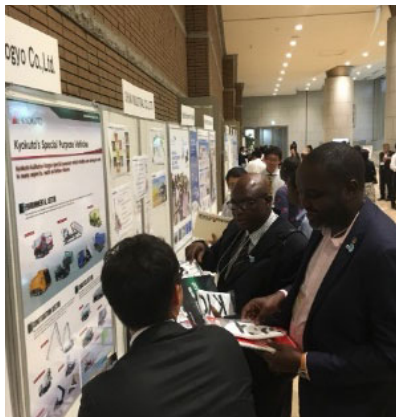
(2日目)

原田義昭 環境省 大臣

■写真



原田環境大臣によるステートメント ハイレベル・セッション集合写真



アフリカ関係者とのビジネス・マッチング

■ 関連する SDGs ゴール :



● 関連リンク

会合プログラム、発表資料及び過去の関連イベント等

- ・ ACCP ウェブサイト : <https://africancleancities.org/JP/index.html>
- ・ アフリカのきれいな街プラットフォーム第2回全体会合の結果について（環境省） : <https://www.env.go.jp/press/107101.html>